

# 第13回 EMR/ESD研究会

EMR/ESD

— 根治性と安全性の向上を目指して —

会 期：2013年7月14日(日)

会 場：ベルサール九段

代表世話人：工藤 進英(昭和大学横浜市北部病院)

当番世話人：島田 英雄(東海大学医学部附属大磯病院外科)

## ESD — Leading the way for minimally invasive therapy



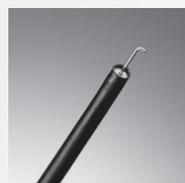
ITknife 2™



ITknife nano™



ITknife™



HookKnife™



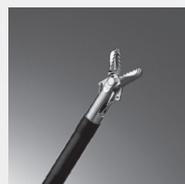
FlexKnife™



DualKnife™



TriangleTipKnife™



Coagrasper™



HotBite™



HotClaw™



EndoLifter™

### より効率的なESDをサポートする各種デバイスラインナップ

|                  |                              |                       |
|------------------|------------------------------|-----------------------|
| ITknife2         | 販売名:ディスポーザブル高周波ナイフ KD-611L   | 薬事番号:218ABBZX00177000 |
| ITknife nano     | 販売名:ディスポーザブル高周波ナイフ KD-612    | 薬事番号:224ABBZX00008000 |
| ITknife          | 販売名:ディスポーザブル高周波ナイフ KD-610L   | 薬事番号:21400BZZ00142000 |
| HookKnife        | 販売名:ディスポーザブル高周波ナイフ KD        | 薬事番号:21400BZZ00490000 |
| FlexKnife        | 販売名:ディスポーザブル高周波ナイフ KD-630L   | 薬事番号:21500BZZ00488000 |
| DualKnife        | 販売名:ディスポーザブル高周波ナイフ KD-650    | 薬事番号:220ABBZX00223000 |
| TriangleTipKnife | 販売名:ディスポーザブル高周波ナイフ KD-640L   | 薬事番号:21700BZZ00050000 |
| Coagrasper       | 販売名:ディスポーザブル高周波止血鉗子          | 薬事番号:21500BZZ00535000 |
| HotBite          | 販売名:ディスポーザブル高周波切開鉗子 FD-430L  | 薬事番号:21500BZZ00538000 |
| HotClaw          | 販売名:ディスポーザブル高周波切開鉗子 FD-420LR | 薬事番号:21500BZZ00536000 |
| EndoLifter       | 販売名:ディスポーザブル把持鉗子 LA          | 薬事番号:13B1X00277000302 |

## ご挨拶

消化器癌に対する内視鏡的切除術は、EMR から ESD へと移行し、そして適応領域も胃、食道から大腸へと急速な進展が認められます。本研究会は、毎年時代に即したテーマを基に開催され、内視鏡治療に従事する熱意溢れる方々が全国から集まり、治療手技やその成績、問題点等に関する発表・討議がなされています。すでに今回で 13 回を迎え今後も益々発展することと存じます。

内視鏡的切除術は低侵襲治療とされますが、ときに極めて危険な状況に遭遇する可能性もあります。また、適応を拡大するあまり根治性が損なわれることは避けなければなりません。そこで今回は、工藤進英会長ともご相談の上「EMR/ESD -根治性と安全性の向上を目指して-」をメインテーマとして、咽頭から大腸までの全消化管に及ぶ EMR/ESD の根治性と安全性に関する新しくて有用な工夫について一般発表をいただくことと致しました。

ランチョンセミナーでは、矢作直久先生に“ESD 困難例への挑戦”のタイトルでご講演戴きます。またミニレクチャーでは、山本博徳先生に“SAFE Knife を用いた胃 ESD と小腸 ESD トンネル法のコツ”を、藤井隆広先生には“クリニックでの内視鏡治療”のご講演を戴きます。諸先生方のご協力で全国の施設から 59 演題と多数の応募をいただきました。しかし、限られた時間のため、全演題をご発表いただくことができませんでした。誠に申しわけなく、心よりお詫び申し上げます。

夏の暑い盛りでの開催ではございますが、一人でも多くの先生方にご参加戴き明日からのより良い医療の一助となることを確信しています。皆様のご参加を心からお待ち申し上げます。

2013 年 7 月

第13回 EMR/ESD 研究会 当番世話人

島田 英雄

東海大学医学部附属大磯病院 外科

第 13 回 EMR/ESD 研究会事務局  
東海大学医学部附属大磯病院 外科  
事務局長 西 隆之  
〒259-0198  
神奈川県中郡大磯町月京 21-1  
Tel:0463-72-3211  
Fax:0463-72-2256  
E-mail:ann.nishi@nifty.com  
研究会当日緊急連絡先:090-5990-8872

## 第13回 EMR/ESD研究会 タイムテーブル 2013年7月14日(日)

|             |  |  |
|-------------|--|--|
| 09:50~10:00 | <b>開会挨拶</b>                              |  |
|             | 代表世話人                                    | 工藤進英(昭和大学横浜市北部病院)                                |
|             | 当番世話人                                    | 島田英雄(東海大学医学部附属大磯病院 外科)                           |
| 10:00~11:00 | <b>セッション1 咽頭・食道EMR/ESD-根治性と安全性への工夫ー</b>  |  |
|             | 司会                                       | 井上晴洋(昭和大学横浜市北部病院 消化器センター)<br>小山恒男(佐久総合病院 胃腸科)    |
|             | 病理コメンテーター                                | 藤盛孝博(獨協医科大学 病理学(人体分子))                           |
| 11:00~11:20 | <b>ミニレクチャー I</b>                         |  |
|             | 司会                                       | 榊 信廣(早期胃癌検診協会)                                   |
|             | 演者                                       | 山本博徳(自治医科大学 消化器センター)                             |
| 休憩          |  |  |
| 11:25~12:31 | <b>セッション2 胃・十二指腸EMR/ESD-根治性と安全性への工夫ー</b> |  |
|             | 司会                                       | 小野裕之(静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科)<br>後藤田卓志(東京医科大学 消化器内科)   |
|             | 病理コメンテーター                                | 味岡洋一(新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子・診断病理学分野)                 |
| 休憩          |  |  |
| 12:45~13:35 | <b>ランチョンセミナー</b>                         |  |
|             | 司会                                       | 幕内博康(東海大学 外科)                                    |
|             | 演者                                       | 矢作 直久(慶應義塾大学 腫瘍センター)                             |
| 休憩          |  |  |
| 13:45~14:39 | <b>セッション3 大腸EMR/ESD-根治性と安全性への工夫ー</b>     |  |
|             | 司会                                       | 田中信治(広島大学病院 内視鏡診療科)<br>斎藤 豊(国立がん研究センター中央病院 内視鏡科) |
|             | 病理コメンテーター                                | 大倉康男(杏林大学 病理学)                                   |
| 14:40~15:00 | <b>ミニレクチャー II</b>                        |  |
|             | 司会                                       | 峯 徹哉(東海大学 消化器内科)                                 |
|             | 演者                                       | 藤井隆広(藤井隆広クリニック)                                  |
| 休憩          |  |  |
| 15:10~15:58 | <b>セッション4 適切な周術期管理および偶発症対策</b>           |  |
|             | 司会                                       | 田辺 聡(北里大学東病院 消化器内科)<br>炭山和毅(東京慈恵会医科大学 内視鏡科)      |
| 15:58~      | <b>統括発言</b>                              |  |
|             |  | 上西紀夫(公立昭和病院)                                     |

## ご参加の皆様へ

参加受付は9:00より3階ホール前にて開始いたします。

3階会議室にて医療機器展示を設置いたしますので、お立ち寄り下さい。

当施設には駐車場がございません。ご来場の際は公共交通機関をご利用いただきますようお願い申し上げます。

## ご発表者の皆様へ(ご講演規定)

### (1) 発表時間

各演題のご発表時間は以下のとおりです。

会の円滑な運営のため、ご発表のお時間は厳守いただきますようお願いいたします。

- ミニレクチャー：20分（質疑応答時間含む）
- ランチョンセミナー：50分（質疑応答時間含む）
- 一般演題：発表 5分、質疑応答 1分

(2) ご発表セッション開始時刻の30分前までに、3階ホール前データ受付にて受付ならびに試写を行っていただきますようお願い申し上げます。

発表データは CD-R もしくは USB フラッシュメモリーでご持参いただくか、ご自身の PC をお持ち下さい。MO などその他のメディアには対応しておりません。

事務局では Windows 7 を搭載した PC を用意します。Windows Vista・XP・8 およびプレゼンテーションに動画などを含まれる方や Macintosh をご利用の方は、必ずご自身の PC をご持参下さい。

#### メディアでお持込みの場合

- ・アプリケーションソフトは Windows Microsoft PowerPoint に限定します。PowerPoint 2007/2010 にてご用意ください。
- ・フォントは文字化けを防ぐため OS 標準のものをご使用ください。
- ・ファイル名は「演題番号\_演者名」としてください。
- ・メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトでチェックしてください。
- ・受付時にコピーした発表データは、学会終了後事務局で責任を持って消去いたします。

#### PC 本体をお持込みの場合

- ・PC 付属の AC アダプターを必ずお持ちください。
- ・会場でご用意する PC ケーブルコネクターの形状は D-sub15 ピンです。一部の薄型ノートパソコンで、モニタ出力端子が D-sub15 ピンでないものがあります。この端子がないものは本体のみではプロジェクターにつながることが出来ません。別売りのアダプターが必要となりますので必ずご用意ください。
- ・お持込の PC については、ご自身にて口演会場内のオペレーター席に運搬をお願いいたします。
- ・発表時間中にスクリーンセーバーや省電力で電源が切れないよう、設定の確認をさせていただきます。トラブルの原因となりますので、一旦確認された設定を変更しないようお願いいたします。

## ベルサール九段へのアクセス

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-8-10 住友不動産九段ビル 3・4F  
ベルサール九段 現地連絡先:03-3261-5014



- 「九段下」駅「5番出口」徒歩5分(半蔵門線・新宿線)
- 「九段下」駅「7番出口」徒歩3分(東西線)
- 「神保町」駅「A2出口」徒歩6分(半蔵門線・新宿線・三田線)
- 「飯田橋」駅「A5出口」徒歩7分(JR線・有楽町線・南北線・東西線・大江戸線)
- 「水道橋」駅「西口」徒歩8分(JR線・三田線)

※駐車場はございません。交通機関をご利用下さい。



## 第 13 回 EMR/ESD 研究会 プログラム

9:50～

開会挨拶

代表世話人 昭和大学横浜市北部病院 工藤進英  
当番世話人 東海大学医学部附属大磯病院外科 島田英雄

10:00～11:00 セッション1 咽頭・食道 EMR/ESD-根治性と安全性への工夫ー

司会 昭和大学横浜市北部病院消化器センター 井上晴洋  
佐久総合病院胃腸科 小山恒男  
病理コメンテーター 獨協医科大学 病理学(人体分子) 藤盛孝博

1-1 咽喉頭表在癌に対する経鼻内視鏡下内視鏡的咽喉頭手術(ELPS)

東京医科歯科大学 食道・胃外科<sup>1</sup>, 同耳鼻咽喉科<sup>2</sup> ○ 川田研郎<sup>1</sup>, 杉本太郎<sup>2</sup>, 岡田卓也<sup>1</sup>,  
藤原尚志<sup>1</sup>, 河野辰幸<sup>1</sup>

1-2 咽喉頭表在癌の内視鏡切除困難部位に対する切除の工夫

慶応義塾大学医学部 一般・消化器外科 ○ 川久保博文, 大森 泰, 中村理恵子,  
竹内裕也, 北川雄光

1-3 非静脈非吸入麻酔下での咽頭 ESD を可能とする Nanoshooter の有用性

金沢医科大学 消化器内科 ○ 中村正克, 白枝久和, 松永和大, 有沢富康

1-4 食道癌化学放射線療法 (CRT) 後の照射範囲内に発生した異時性癌に対する ESD の有用性

広島大学病院 内視鏡診療科<sup>1</sup>, 同 消化器・代謝内科<sup>2</sup>, ○ 影本賢一<sup>1</sup>, 岡志郎<sup>1</sup>, 田中信治<sup>1</sup>,  
広島大学 保健管理センター<sup>3</sup>, 同 病理診断科<sup>4</sup> 実綿倫宏<sup>2</sup>, 佐野村洋次<sup>1</sup>, 卜部祐司<sup>2</sup>,  
吉田成人<sup>1</sup>, 日山亨<sup>3</sup>, 有廣光司<sup>4</sup>,  
茶山一彰<sup>2</sup>

1-5 全周性食道 ESD 後の狭窄予防

佐久総合病院 胃腸科 ○ 高橋亜紀子, 小山恒男, 友利彰寿, 篠原知明,  
岸埜高明, 久保俊之, 森主達夫, 山田崇裕

#### 1-6 SB ナイフ1本で行う安全な食道 ESD

富山大学附属病院 第3内科

○ 藤浪 斗, 細川 歩, 安藤孝将, 吉田啓紀,  
杉山敏郎

#### 1-7 ESD を応用した、食道及び胃噴門部の粘膜下腫瘍に対する新しい低侵襲治療:内視鏡的粘膜下腫瘍摘出術 Submucosal endoscopic tumorectomy (SET)

昭和大学横浜市北部病院 消化器センター

○ 佐藤千晃, 井上晴洋, 小川悠史, 中原健太,  
佐藤裕樹, 池田晴夫, 鬼丸学, 小鷹紀子,  
伊藤寛晃, 工藤進英

#### 1-8 細径スコープ用エンドナイフを用いた食道 ESD

がん研有明病院 消化器内科,

市立四日市病院 消化器内科, 日本海病院 内視鏡内科

○ 石山晃世志, 土田知宏, 松尾康正,  
大前雅実, 藤崎順子, 小林 真, 本間清明

#### 1-9 全身麻酔下 ESD の有用性についての検討

東京大学医学部附属病院 消化器内科

○ 皆月ちひろ, 望月暁, 小田島慎也, 小野敏嗣,  
新美恵子, 辻陽介, 平山慈子, 坂口賀基,  
山道信毅, 藤城光弘, 小池和彦

#### 1-10 食道 ESD の糸付き Clip の有用性 -無作為化比較試験-

仙台市医療センター仙台オープン病院 消化器内科

○ 平澤 大, 小池良樹, 前田有紀, 大平哲也,  
原田喜博, 鈴木憲次郎, 山形拓, 藤田直孝



11:00~11:20 ミニレクチャー I

## SAFE Knife を用いた胃 ESD と小腸 ESD トンネル法のコツ

司会 早期胃癌検診協会 榊 信廣  
演者 自治医科大学消化器センター 山本博徳

### 略歴

山本 博徳 (やまもと ひろのり)

### ■学歴

1984年3月 自治医科大学卒業

### ■職歴

1984年4月 高知県立中央病院 研修医

1990年4月 米国臨床留学((Mayo Clinic, Rochester, MN 及び University of Texas at Dallas)

1995年11月 自治医科大学消化器内科、臨床助手

2001年10月 自治医科大学内科学講座(消化器内科学部門)、講師

2005年10月 自治医科大学内科学講座(消化器内科学部門), フジノン国際光学医療講座 助教授

2007年6月 自治医科大学内科学講座(消化器内科学部門) 教授  
フジノン国際光学医療講座(現富士フイルム国際光学医療講座) 教授

2008年4月 自治医科大学附属病院光学医療センター センター長

2009年4月 シンガポール国立大学外科 客員教授

2012年4月 自治医科大学附属病院消化器センター センター長

### ■所属学会・資格

日本内科学会指導医, 日本消化器病学会指導医

日本消化器内視鏡学会指導医

日本カプセル内視鏡学会指導医

American Gastroenterological Association (AGA): fellowship member

American Society for Gastrointestinal Endoscopy (ASGE): international member

Educational Commission for Foreign Medical Graduates (ECFMG) Certification (1989年12月取得)

### ■役職

日本消化器内視鏡学会学術評議員

日本消化器病学会評議員 関東支部会評議員 財団評議員

日本消化管学会 代議員

Editorial Board, Endoscopy

Fellow, American Gastroenterological Association

Editor, Elsevier GmbH publications “VIDEO JOURNAL OF GI ENDOSCOPY”

Editor, Elsevier GmbH publications “VIDEO ENCYCLOPEDIA of GI ENDOSCOPY” 他

11:25～12:31 セッション2 胃・十二指腸 EMR/ESD-根治性と安全性への工夫ー

司会 静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科 小野裕之

東京医科大学 消化器内科 後藤田卓志

病理コメンテーター 新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病理学分野 味岡洋一

2-1 胃がん術前深達度診断についての検討～術前深達度診断が不正確であった症例から～

東京大学医学部付属病院 消化器内科

- 坂口賀基, 辻陽介, 皆月ちひろ, 浅田慈子, 望月暁, 新美恵子, 小野敏嗣, 小田島慎也, 山道信毅, 藤城光弘, 小池和彦

2-2 リング付きクリップを使用した内視鏡手技

市立四日市病院 消化器内科

- 小林 真

2-3 上部溝付きフードを用いたクリップフラップ法の検討

市立豊中病院 消化器内科

- 山本克己, 近藤尚, 齊木浩二, 林史郎, 市場誠

2-4 Hook ナイフの積極的な導入に向けた取り組み: 胃 ESD での main device の変更

聖路加国際病院 消化器センター

- 石井直樹, 秋山仁, 今村倫敦, 村上優賀里, 岡田修一, 池谷敬, 藤田善幸

2-5 当院における胃 ESD 治療困難病変に対する工夫

聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科

- 前畑忠輝

2-6 胃体上部大弯後壁病変に対する治療戦略

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科

- 大野康寛, 小田柿智之, 池松弘朗, 森本浩之, 今城眞臣, 門田智裕, 矢野友規, 金子和弘

## 2-7 肝硬変合併患者、腎不全合併患者に対する胃粘膜下層剥離術の治療成績

虎の門病院 消化器内科

- 山下聡, 布袋屋修, 栗林泰隆, 野村浩介, 木村隆輔, 山田晃弘, 古畑司, 菊池大輔, 松井啓, 三谷年史, 小川修, 飯塚敏郎, 貝瀬満

## 2-8 胃 ESD 術中出血に対するデンプン由来吸収性局所止血材の有用性に関する動物実験

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科

- 阿部清一郎, 小田一郎, 野中哲, 関口正宇, 高丸博之, 鈴木晴久, 吉永繁高, 斎藤豊

## 2-9 表在型胃腫瘍に対する mesna 局注による Chemically Assisted Endoscopic Submucosal Dissection (CA-ESD) の開発

東京慈恵会医科大学 消化器肝臓内科・内視鏡科

- 樺 俊介, 炭山和毅, 豊泉博史, 大谷友彦, 田尻久雄

## 2-10 十二指腸腫瘍の内視鏡治療における IT knife nano の有用性

がん研有明病院 消化器内科

- 富田明彦, 山本頼正, 大隅寛木, 小倉淳司, 奥野真理, 森重健二郎, 石川寛高, 吉澤奈津子, 堀内裕介, 大前雅実, 由雄敏之, 平澤俊明, 石山晃世志, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広

## 2-11 内視鏡治療困難と考えられた十二指腸腺腫に対し、腹腔鏡・内視鏡合同手術 (LECS) を行った1例

東京医科大学 消化器内科<sup>1</sup>,  
がん研有明病院 消化器センター<sup>2</sup>,  
東京医科大学 消化器外科<sup>3</sup>

- 福澤誠克<sup>1</sup>, 比企直樹<sup>2</sup>, 後藤田卓志<sup>1</sup>, 永川裕一<sup>3</sup>, 土田明彦<sup>3</sup>, 森安史典<sup>1</sup>



12:45～13:35 ランチョンセミナー

## ESD 困難例への挑戦

司会

東海大学 外科

幕内博康

演者

慶應義塾大学 腫瘍センター

矢作直久

共催

エーザイ株式会社

13:45～14:39 セッション3 大腸 EMR/ESD-根治性と安全性への工夫ー

|           |                     |      |
|-----------|---------------------|------|
| 司会        | 広島大学病院 内視鏡診療科       | 田中信治 |
|           | 国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 | 斎藤 豊 |
| 病理コメンテーター | 杏林大学 病理学            | 大倉康男 |

3-1 大腸 ESD セカンドデバイスとしての SB ナイフ Jr の有用性

千葉県がんセンター 内視鏡科<sup>1</sup>, 同 消化器内科<sup>2</sup> ○ 鈴木拓人<sup>1</sup>, 原太郎<sup>1</sup>, 杉田統<sup>2</sup>, 新井裕之<sup>2</sup>,  
辻本彰子<sup>2</sup>, 喜多絵美里<sup>2</sup>, 中村奈海<sup>2</sup>,  
相馬寧<sup>2</sup>, 須藤研太郎<sup>2</sup>, 中村和貴<sup>2</sup>,  
三梨桂子<sup>2</sup>, 廣中秀一<sup>2</sup>, 傳田忠道<sup>2</sup>,  
山口武人<sup>2</sup>

3-2 安全な大腸 ESD の取り組み ～困難例・穿孔例・中止例の検討～

京都府立医科大学大学院 消化器内科 ○ 吉田直久, 八木信明, 稲田裕, 小木曾聖,  
広瀬亮平, 内藤裕二, 伊藤義人

3-3 大腸 ESD における工夫～デバイスの使い分けを中心に～

広島大学 内視鏡診療科<sup>1</sup>, 同 消化器・代謝内科<sup>2</sup> ○ 嶋田賢次郎<sup>1</sup>, 田中信治<sup>1</sup>, 朝山直樹<sup>1</sup>,  
西山宗希<sup>1</sup>, 林奈那<sup>1</sup>, 寺崎元美<sup>1</sup>,  
中土井鋼一<sup>1</sup>, 岡 志郎<sup>1</sup>, 茶山一彰<sup>2</sup>

3-4 大腸 ESD に対する traction device とメスナ粘膜下局注併用の有用性について

東京慈恵会医科大学附属病院 消化器・肝臓内科<sup>1</sup>, 同 内視鏡科<sup>2</sup> ○ 井出大資<sup>1</sup>, 大谷友彦<sup>2</sup>, 炭山和毅<sup>2</sup>,  
田尻久雄<sup>1,2</sup>

3-5 先端系ナイフと高周波はさみ鉗子併用における大腸 ESD の治療成績および治療介助の実際

大腸肛門病センター高野病院 内視鏡技師<sup>1</sup>, 同 医師<sup>2</sup> ○ 松平美貴子<sup>1</sup>, 西坂好昭<sup>1</sup>, 野崎良一<sup>2</sup>

### 3-6 大腸 ESD—当院における根治性と安全性を目指した工夫

昭和大学横浜市北部病院 消化器センター

- 石垣智之, 工藤進英, 林武雅, 須藤晃佑, 豊嶋直也, 及川裕将, 工藤孝毅, 矢川裕介

### 3-7 技術的に困難な大腸 ESD 病変の臨床病理学的特徴に関する検討

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科

- 松山恭士, 坂本琢, 山田真善, 佐々木隼人, 大竹陽介, 中島健, 松田尚久, 斎藤豊

### 3-8 大腸腫瘍に対する ESD の臨床的適応についての検討

東京医科大学 消化器内科

- 佐藤丈征, 福澤誠克, 後藤田卓志, 森安史典

### 3-9 ESD 後局所再発機序としての implantation の可能性

自治医科大学 消化器内科

- 新畑博英, 山本博徳, 砂田圭二郎, 井野裕治, 林芳和, 佐藤博之, 三浦義正, 坂本博次, 北村絢, 菅野健太郎



14:40～15:00 ミニレクチャーⅡ

## クリニックでの内視鏡治療

司会  
演者

東海大学 消化器内科 峯 徹哉  
藤井隆広クリニック 藤井隆広

略歴

藤井 隆広 (ふじい たかひろ)

### ■学歴

1983年4月 金沢医科大学医学部卒業

### ■職歴

1983年6月 金沢医科大学第Ⅱ病理学教室 入局

1986年4月 国立がんセンター(現中央病院)内視鏡部研修医

1987年4月 国立がんセンター(現中央病院)内視鏡部レジデント

1990年6月 秋田赤十字病院内科 医員

1992年7月 国立がんセンター東病院内視鏡部消化器科 医員

1995年5月～9月 英国 Leeds General Infirmary にて内視鏡の指導

1998年10月 国立がんセンター中央病院内視鏡部消化器科 医員

2001年4月 国立がんセンター中央病院内視鏡部消化器科下部消化器内視鏡医長

2003年7月 藤井隆広クリニック 開院

### ■所属学会・資格

日本消化器内視鏡学会 専門医

日本消化器病学会 専門医

日本胃癌学会 会員

日本癌学会 会員

病理解剖 認定医

### ■役職

日本消化器内視鏡学会 評議員

日本消化管学会 評議員

15:10～15:58 セッション4 適切な周術期管理および偶発症対策

司会

北里大学東病院 消化器内科 田辺 聡  
東京慈恵会医科大学 内視鏡科 炭山和毅

4-1 抗血小板薬内服継続例における胃 ESD の安全性

広島大学病院 内視鏡診療科<sup>1</sup>, 同 消化器・代謝内科<sup>2</sup> ○ 佐野村洋次<sup>1</sup>, 岡 志郎<sup>1</sup>, 田中信治<sup>1</sup>,  
影本賢一<sup>2</sup>, 沼田紀史<sup>2</sup>, 茶山一彰<sup>2</sup>

4-2 上部消化管 ESD における術前・術中訪問を実施して

仙台市医療センター仙台オープン病院 内視鏡センター<sup>1</sup> ○ 伊澤廣美<sup>1</sup>, 熊澤さえ子<sup>1</sup>, 平澤大<sup>2</sup>,  
同 消化器内科<sup>2</sup> 藤田直孝<sup>2</sup>

4-3 大腸 ESD—治療前後の抗生剤投与についての検討

昭和大学横浜市北部病院 消化器センター ○ 矢川祐介, 工藤進英, 林武雅, 須藤晃佑,  
豊嶋直也, 及川将之, 石垣智之, 工藤孝毅

4-4 当院における大腸 ESD 後の食事開始時期について

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 ○ 今城眞臣, 小田柿智之, 大野康寛, 池松弘朗,  
門田智裕, 森本浩之, 矢野友規, 金子和弘

4-5 難症例、難局面における device の変更～専任介助者を配置する有益性～

聖路加国際病院 消化器センター ○ 秋山仁, 石井直樹, 吉野恵, 今村倫敦,  
村上優賀里, 岡田修一, 藤田善幸

4-6 ゼオクリップの使用経験

NHO 四国がんセンター 看護師<sup>1</sup>, 同 内視鏡科医師<sup>2</sup> ○ 藤本邦弘<sup>1</sup>, 西出憲史<sup>2</sup>, 堀伸一郎<sup>2</sup>

4-7 早期胃癌に対する内視鏡的胃粘膜下層剥離術(ESD)後の後出血に関する検討

北里大学東病院 消化器内科 ○ 鈴木瑞人, 田辺聡, 石戸謙次, 佐々木徹,  
樋口勝彦, 堅田親利, 東瑞智, 成毛 哲,  
金明哲, 小泉和三郎

#### 4-8 ESD 後遅発性穿孔例の検討

北里大学医学部 消化器内科<sup>1</sup>, 同 病理<sup>2</sup>  
相模原協同病院 消化器内科<sup>3</sup>

○ 矢野貴史<sup>3</sup>, 田辺聡<sup>1</sup>, 荒木正雄<sup>3</sup>, 石戸謙次<sup>1</sup>,  
東瑞智<sup>1</sup>, 堅田親利<sup>1</sup>, 佐々木徹<sup>1</sup>, 樋口勝彦<sup>1</sup>,  
小泉和三郎<sup>1</sup>, 吉田功<sup>2</sup>

15:58～

**統括発言**

公立昭和病院

上西紀夫

